新型コロナウイルス感染症対策に係る意見交換会

８月６日に町民センター大ホールにおいて「新型コロナウイルス感染症対策に係る意見交換会」が開催されました。意見交換会には産業、福祉、教育、住民の各分野を代表する主要団体の代表者が参集し、現状や今後の取り組みについて情報共有と意見交換が行われました。

参集者からの今後の取り組みに対する意見として、これまでの自粛や補填的要素の対応から抜け出し、住民活動におけるイベント等事業実施に向けたガイドラインの作成や、経済活動における未来志向の事業継続に向けた支援策の必要性など、ウィズ・コロナ時代を見据えた新たな施策展開に期待する声が挙げられました。

令和２年度戦没者追悼式

８月15日、今金町戦没者追悼式が今金八幡宮境内戦没碑前にて執り行われました。例年、町民センターで行われていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、野外で規模を縮小しての開催となりました。

主催者である今金町遺族援護会の橘会長は、平和な世界を作る努力を怠らないことを誓い、御霊のご冥福を祈りました。

最後に伊東遺族会長からは、年々遺族会員が減っている現状に触れられ、「御霊のご冥福を祈るとともに平和な世界を望んでいる」と謝辞がありました。

令和２年９月から地域包括ケア病床を開設します

１、在宅復帰を支援するための病床です

急性期治療後、病状が安定した患者様に対して、住み慣れたご自宅（施設）への復帰支援を医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士などが協力して行います。最大60日間可能です。

２、対象となる患者様の具体例

①入院治療で症状が改善し、在宅復帰を希望される方
②入院治療で病状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
③ご自宅（施設）復帰に向けた療養準備が必要な方

３、入院医療費

入院料は、特別に定められたもの以外の投薬、リハビリ、簡便な検査や処置を含む定額料金です。前期高齢者（70～74歳）、後期高齢者（75歳以上）の方は、月の医療費の上限が定められているため、負担額は一般病床利用時と概ね変わりはありません。

【問合せ】国保病院　☎82-0221

に５月１日～10月31日までの期間、軽装で執務します。

第６次今金町総合計画策定に向け、審議会各専門部会を開催～

６月４日、第６次今金町総合計画の策定に向け、外崎町長から総合計画策定審議会（会長:村本智之）に諮問書が手交されました。

審議会は運営規則に基づき、４つの専門部会（人づくり、暮らしづくり、ものづくり、まちづくり）を構成しており、それぞれ所掌する分野の内容について、様々な議論・意見交換を行っております。

６月25日・26日の両日に実施した第１回各専門部会では、昨年度実施したワークショップの内容をさらに掘り下げ、現状と課題の洗い出し整理をし、続く７月20日・21日の両日に実施した第２回各専門部会では、洗い出し整理した内容をもとに作成した施策分野ごとの基本計画検討シート（たたき台）について、議論しました。

さらに、８月20日・24日・25日の３日間でそれぞれ実施した第３回各専門部会では、役場職員の課長補佐・主幹職を中心に構成する作業部会代表者も参画し、現状と課題、今後の取り組みの方向性について、町民目線と行政側の視点の双方向での議論等を行いました。

村本会長は、「収穫期を迎え、忙しい時期になりますが、審議会委員26名の知恵と総力を結集し、一致団結して将来の今金町に相応しい計画を策定したい。」と抱負を語っていました。

審議会は、今年度秋ごろの答申を目指し、今後も検討を続けることとしています。

▲第２回専門部会（人づくり）の様子（７/21）

▲第３回専門部会（暮らしづくり）の様子（８/20）

榊原さんと角谷さんの田舎暮らし「出会いと発見」日誌

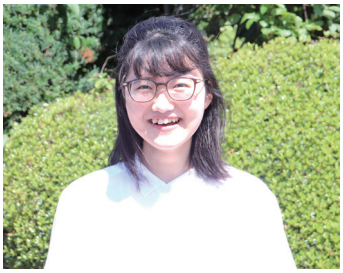
地域おこし協力隊『いまかね紀行』

みなさんこんにちは、地域おこし協力隊の榊原です。私が今金町に来てもうすぐ半年が経とうとしています。この半年は本当に短かったです。おいしいものに包まれ、幸せいっぱいで今金町を満喫しています！

前回、お伝えした美利河地区のフットパスのコース作りに合わせて、８月中旬から下旬には美利河へ訪れた方を対象に「ピリカクイズスタンプラリー」を実施しました。美利河地区を散策しながら今金町の歴史などを知ることができるクイズを解き、スタンプを集めていくものです。幅広い世代に参加してもらえるよう問題やコースを考え、企画しました。

今後の活動としては、郷土教育に役立つような学校に貸し出せるトランクキットを製作していこうと思っています。トランクキットとは、実物標本や資料に手軽に触れられるように１つにまとめ、持ち運びができるものです。それを使い、学校への出前講座なども企画したいと考えています。また、引き続きフットパスなど企画していきたいと思っています。　（地域おこし協力隊　榊原愛歌）

８月から地域おこし協力隊に着任しました、角谷侑美香（かどやゆみか）です。空知の新十津川町で生まれ、札幌国際大学へ進学し、４年間札幌で暮らしました。今金町には在学中のゼミ活動や連携事業で訪れ、豊かな自然、歴史、食、町民の方々など今金町に多くの魅力を感じました。その多くの魅力を地域おこし協力隊として伝えていきたいと考えています。今金出身ではない自分の五感を通して発信していくことで、「今金町と深く関わりを持つ人」や「今金町に何度も行きたいと思う人々」を増やすことで町に貢献できるよう一生懸命取り組みますので、どうぞよろしくお願いします。（地域おこし協力隊　角谷侑美香）



地域おこし協力隊の活動はInstagramやいまｃｈ．のホームページでも更新しています。ぜひ、ご覧ください。

来庁者の方々にソフトなイメージで接することを目的